

CIR 活動ページ

2017年10月号 No. 95



皆さんお久しぶりです！中国西安出身の国際交流員李迪（リ・ティ）です。時間が経つのは本当に早いですね！霧島に来てもうすぐ半年となり、その半年間を振り返ってみると、楽しい思い出がたくさんあります。霧島市民の方々との交流や、子供たちと過ごした時間など、いままでの人生でかけがえのない貴重な体験をさせていただきました。皆さまのおかげで、この収穫の季節に、私も実り豊かな国際交流員生活を送ることができました。それでは早速、私たちの9月のイベントについて皆さんにご紹介したいと思います～



9月4日から8日まで、CLAIR(自治体国際協会)主催のJETプログラム日本語翻訳・通訳集合研修が滋賀県にある全国市町村国際文化研修所で行われました。今回の研修は韓国語と中国語だけで、全国から集まってきた国際交流員合計45名(韓国11名、中国34名)が参加しました。



講座は翻訳・通訳の基礎知識や、仕事現場の対応など、とても幅広く充実した内容でした。通訳訓練は大学院で受けたことがありましたが、今回の研修で翻訳・通訳という仕事への認識を一層深めました。母国語力を向上させること、幅広い知識を身につけること、毎日弛まぬ努力を続けることの必要性を痛感しました。

五日間の研修は予想以上にきつかったですが、クラスの皆さんと一緒に頑張ったので、すごく達成感がありました。久しぶりに朝から晩まで勉強して、学生時代の自分も思い出しました。これからは、学んだ知識を仕事に生かし、より良い自分、より良い国際交流員になるため頑張りたいと思っています。



9月18日から22日まで、第5回アジア太平洋ジオパークネットワーク(APGN)シンポジウムが中国の貴州省織金洞ジオパークで開催されました。穏やかな錦江湾と雄大な霧島連山に恵まれた霧島ジオパークが今回の大会に招待されたおかげで、私も中国語通訳者として参加することができました。国際交流員の仕事に就いてからはじめての出張ですので、期待と不安の気持ちが入り交じり、一ヶ月前からドキドキしていました。

いよいよ出発！シンポジウムの開催地である織金は中国の南西部に位置し、地図から見るとかなり遠いところです。鹿児島から上海までの直行便は2時間もかからないのに対して、上海から貴州までの運航時間はなんと3時間でした！電車、新幹線、地下鉄、飛行機、タクシー、ほぼすべての交通手段を使い尽くし、丸一日をかけてやっと目的地に着きました！



ユネスコの正式事業の一つ「国際地質科学ジオパーク計画」の一環として、APGNは世界ジオパークに認定された地域で隔年開催されています。今年の大会は世界27か国から900名を超える参加があり、日本からは8地域の代表が出席されました。アジア各国のジオパーク関係者がジオパークの現状や今後の課題などについて語り合い、自分の地域のPRもしました。



三日目には私が一番楽しみにしていた貴州視察でした。国家クラスの景勝地「中国で最も美しい鍾乳洞」を誇る織金洞に行きました！彩り溢れた巨大な洞内に、様々な造型な鍾乳石が地球変動の歴史を語っており、神秘的な空間で自然の力に圧倒されました。その後、中国の少数民族の一つミャオ族の村へ訪問しました。親切な村民たちが歌いながら、自家製のお酒で迎えてくれました。重要文化財のろうけつ染め、鮮やかな民族衣装、独特な建築様式など、いずれも私たちを魅了させました。

